

令和 3 (2021) 年度栃木県健康推進学校表彰について

このことについて、過日実施いたしました審査会の結果、下記のとおり被表彰校を決定いたしました。

この表彰は、心身ともに健やかな児童生徒を育成するために、学校における健康課題を中心として、健康教育の推進に積極的に取り組み、成果を上げている学校を表彰するものです。

なお、表彰式は 12 月 21 日（火）に開催する第 16 回栃木県健康教育研究大会の中で執り行います。

記

○ 最優秀校

小学校 小山市立豊田北小学校

【成果概要】

新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組として「豊北モデル」を定め、校内対応の周知徹底を図っている。また、近年、児童が端末を見る機会が多い状況から、眼球運動や立腰トレーニングを日常的に行い児童の健康の保持増進を図っている。学校保健委員会を 4 回行い、扱う内容に合わせ、出席するメンバー（学校医等の専門家、地域学校開放団体、全職員、全児童、PTA、近隣養護教諭等）を工夫している。内容としては、学校における新型コロナウイルス感染症対策の検討を行い、学校・家庭・地域が連携し健康教育に関する成果を上げている。

中学校 那須塩原市立日新中学校

【成果概要】

「健康」は全ての活動の基盤と捉え、健康教育の重点目標を「体力づくりの推進」「規則正しい生活習慣の確立」としている。具体的な取組として、体力づくりでは、毎日新聞社主催の「毎日カップ中学校体力づくりコンテスト」において日本一を目指し、11 年連続入賞、令和 2 年度は「優秀賞」を受賞している。規則正しい生活習慣の確立では、生徒衛生委員会の活動で、生徒から生徒への情報発信を行っている。中学校という発達段階を捉え、生徒の自主性を重要視しながら規則正しい生活を意識させることで、健康教育として成果を上げている。

高等学校 県立宇都宮北高等学校

【成果概要】

努力目標に、「健康にして安全な生活を保持し、困難に屈伸ない心と体を鍛える」を掲げ、生徒が主体的に活動できるように促している。具体的な活動として、生徒保健委員会では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止について調査・集計・分析を保健だより「マイヘルス」にまとめ、啓発をしている。また、献血推進活動では、生徒が日本赤十字社の担当者と打合せを行い、活動の計画を立て、啓発活動を行っている。継続した取組が成果を上げ、献血する生徒が増えている。これらの活動を通し、キャリア教育につなげているところも特徴的となっている。

○ 優秀校 該当無し

○ 優良校

- ・ 大田原市立紫塚小学校
- ・ 足利市立山前小学校
- ・ 小山市立小山第三中学校